



2012/8発行
地域医療連携室

第9号

3.11の東日本大震災にあたり、全国の皆様から多大なご支援を賜りました。厚くお礼を申し上げます。

気仙沼は壊滅的被害を受けましたが、病院は小高い丘の上に建っていたため津波や火災の難を逃れ何とか立ち直りつつあります。気仙沼の復興は緒についたばかりですが、懸案だった市立病院の新築移転が正式に決まり5年後の開院に向けての準備を急ピッチで進めています。

当院は、災害拠点病院でもあり宮城県の北部の医療の最後の砦です。そのため救急医療、高度医療、先駆的医療の充実と向上を目指しています。

地域の人々の健康を守り医療の面から復旧復興の礎となるようにスタッフ一丸となり努めています。

皆様方の更なるご支援ご協力をお願い申し上げます。

気仙沼市立病院 院長 安海 清

厳しい夏の暑さが続き、お盆も過ぎたというのに未だにエアコンの涼風が恋しい今日この頃、みなさん精力的にご活躍のことと思います。さて、この度前任の横田憲一副院長の後を受け、地域医療連携室を担当することになりました。

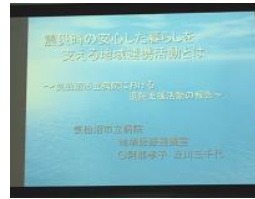
震災後の環境や医療事情の変化から、当院は気仙沼地区のみならず他の地域の医療機関等との連携の必要性が増し、当地域医療連携室の役割がますます重要となって来ております。地域医療連携室一同、今まで以上精進して職務に当たっていきますので、これからも当連携室の活動にご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

まだまだ暑さの厳しい日が残りますが、くれぐれもご自愛ください。

地域医療連携室 室長 星 達也

学会へ参加してきました

日本地域看護学会 in 東京



6月23日・24日の2日間、聖路加看護大学で開催された、日本地域看護学会に参加してきました。『震災時の安心した暮らしを支える地域連携活動とは』という題で、多くの方に発表を聞いていただきました。学会には、全国から様々な職種の人が集まり、私たちの発表のグループでは、訪問看護ステーションでの遠隔看護や在日韓国人の介護問題など、色々な視点からの発表でした。

また、特別講演では、医師から市長になられた松本市の菅谷市長の《いのちを守る政策》というテーマで、チェルノブイリ医療支援活動での経験や、“いいまち”とはどういうまちか等、医師と市長両面からの内容で、とても興味深い講演でした。

地域看護への関心が高まっている中で、貴重な経験ができた2日間でした。



日本災害看護学会 in 名古屋



7月28日・29日に愛知県名古屋市で開催された、日本災害看護学会に参加してきました。

当院からは、外科病棟・救急室・手術室、地域医療連携室も含め4部署が発表しました。地域医療連携室の示説で午後の発表予定でしたが、午前中から多くの方にきていただき、震災当時の病院についてや、活動の様子などの質問を受けました。また、当院の震災活動記録集『今を生きる ともに未来へ』を100冊持参し、発表を聞いて下さった方に差し上げました。災害時のマニュアルを見直している病院も多く、「参考にさせていただきます」等の声も聞かれ、とても好評でした。

また、今後起こりうるであろう、東南海沖地震に向けての発表や台風・竜巻などの自然災害に関する発表も多くありました。

震災関連の発表では、被災地域の医療関係機関だけでなく、被災地支援した側の発表もあり、あらためて、多くの方々に支えられていたんだと感じた2日間でした。



名古屋は連日
猛暑(＞_＜)
熱中症対策
必須でした！

災害時の実技講習もありました



毛布一枚があったかい
ガウンに大変身！！

風呂敷二枚がペットボトル
も入るリュックに☆

他にも、三角巾を用いた包帯
の巻き方や、ハンドマッサージ
の講習がありました☆



活動報告



5月から、新しいスクリーニングシートを使用し、支援の必要な患者さんの拾いあげをはじめました。入院から1週間以内に患者・家族との面談を実施し、早期からの退院支援を開始しています。

その結果4月と比べ、新規退院支援患者数が倍以上に増えました。

今後も、患者さん一人一人に合った支援ををしていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願いします。

	4月	5月	6月	7月
新規	47	134	127	124
再開	11	18	22	30
継続	331	389	505	498
照会	6	5	3	0
一日平均	19.75	26	31.29	31.1
退院患者数	72	90	145	151
内 訳	自宅	45	54	96
	転院	7	9	15
	施設	9	12	13
	死亡	11	15	21

がんサロン室からのお知らせ

サロン室では、ボランティア団体“**One World Project**”様からいただいた、ケア帽子やタオル帽子、ウィッグをご希望の患者様に提供しています。

ウィッグに関しては、患者様の頭囲を測って、ご希望の長さや色をうかがってから、“**One World Project**”様に支援依頼を行いますので、少々お時間をいただきます。

全国からウィッグ使わなくてよくなった方から、ご厚意で提供していただいているものです。新品ではありませんが、メーカーの物は値段が高い。どんなものか触ってみたいなど、興味のある患者様がいらっしゃいましたら、地域医療連携室までご連絡ください。

患者様のご紹介に関してのお願い

日頃から、当院の診察につきましたご協力いただき、誠にありがとうございます。
今回、前方支援業務を見直した結果、診療情報提供書の一部変更と、新患紹介受付時間など、若干紹介手順が変更となります。

また、患者様が安心してスムーズに受診していただけるように、ご紹介の際は、地域医療連携室にてご予約いただきますよう、何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

【新患の予約手順 別紙参照】

①紹介される先生は、**診療希望日の前日**までに診療情報提供書（本ホームページからダウンロード可能です）に必要事項を記入の上、FAXで診療をお申し込みください。当日の紹介希望は、患者様に「診療情報提供書」を持参させ、朝11時までに受付を行ってください（呼吸器科を除く）。

尚、予約受付時間外（平日17以降・土曜・日曜・祝日含む）のお申し込みに関しましては、翌診療日に対応いたします。

②地域医療連携室から「予約票」をFAXしますので、患者様にお渡しください。また、受診当日は「診療情報提供書」の原本・レントゲン写真等を患者様に持参させてください。

診療科によって、時間予約が可能なところとそうでないところがございます。また、予約票の送信まで、お時間をいただき場合がございますので、その場合はご連絡いたします。

③患者様には、次のようにご説明ください

受診当日「予約票」「気仙沼市立病院の診察券」「健康保険証」「診療情報提供書」を予約票に書かれている受付場所に提出してください。そして少ない待ち時間で診察を受けられます。しかし、時間予約のない診療科は、受付順での診察になりますので、ご了承ください。

◎急患のご依頼について

①緊急を要する患者さんは、**症状に応じて各科外来に直接ご連絡**していただき、受診の段取りを行うようお願いいたします（地域医療連携室では、急患の取り扱いはできません）。

土曜・日曜・祝日の急患のご依頼は、救急室に電話連絡の上、紹介状持参で救急室を受診させてください。

②急患ではない患者様は、地域医療連携室にてご予約ください。

紹介手順

紹介元医療機関

③紹介状の原本・レントゲン写真と予約票を患者様にお渡し下さい。

③紹介状
予約票

患者様

①紹介希望日の前日までに紹介状をFAXにてお送りください

*当日の紹介希望は、**呼吸器科以外**でしたら、紹介状を持参させ、午前11時までに受付をしてください。

①紹介状

②予約票

②予約票をお送りします

*診療科によって、時間予約が無かったり、予約票送信まで時間がかかる場合があります。

気仙沼市立病院
地域医療連携室

急患の場合は、各科外来へ直接ご連絡ください
地域医療連携室では、急患の取扱いはできません

呼吸器科のご紹介について

呼吸器科外来は**完全予約制**となっております。

予約のない場合、紹介状をお持ちでも、診察できかねます。

ご紹介の際は、**必ず地域医療連携室を通してご予約**ください。

*緊急を要する患者様に関しましては、随時対応しますので、呼吸器科外来までご連絡ください。